

医師・看護師等の増員に関する意見書

近年、全国的に小児科や産科などにおける医師や看護師等の不足が深刻な問題となっており、医師・看護師不足等のため、入院ベッドが減らされたり地域の病院が閉鎖される事態が発生している。さらに、現場では人員不足などによって、過密労働が強いられた結果、退職する医師・看護師が増え、さらに人員不足を招くという悪循環も発生している。

地域住民が安心して生活するためには、救急医療や小児科・産科医療など必要な医療サービスが確保されることが重要であり、医師・看護師等の不足の解消は喫緊の課題である。

よって、国においては、医師・看護師等の増員と、医療現場における職場環境の改善の支援のために必要な法律の整備を講じること、国の財源を医療・社会保障により一層振り向けることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成21年12月18日

東京都羽村市議会議長 船 木 良 教